



ながの

永野小学校学校だより 2022nd

令和4年7月22日

8月号

横浜市立永野小学校

校長 鵜飼 数夫

なかよく かがやき のびゆく子

〒233-0012 横浜市港南区上永谷 2-21-10

URL: <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nagano/>

Mail: ky-e-nagano@city.yokohama.jp

TEL 045-843-8556

FAX 045-842-9143

永野小

検索



130th Anniversary



Yokohama Nagano
Elementary School

永野小学校創立130周年

思いやりのある あいさつで 花を咲かせよう

～勇気と希望で かがやく永野小～

中干しのススメ

校長 鵜飼 数夫

夏休みを迎え、体育館棟の前の花壇には、5年生が社会科と総合的な学習で育てている稲が青々と茂っています。

6月10日に、苗を分けてもらい、バケツに土を入れて植え替えをしました。花壇にも底面に防水シートを張り、本物の田んぼと同じように、土面から10cmほど水を張り、乾かないように毎日水の管理をしてきました。

それから約40日後の7月中旬になると、右の写真のように水を抜いて土がひび割れる程度に乾かしています。これは、「中干し」といって、稲をより成長させるために必要な大切な過程なのです。科学的には、土を乾かすことによって土中に酸素がよりいきわたるようになり、根の発育を活発にし「分けつ」（＝根元の株分かれ）を促進するためのものです。これを2～3日つけた後、また水を湛えてから乾燥、これを7月下旬まで繰り返していきます。そして、穂が付き始める8月上旬から中旬にかけては、たっぷりと水を張り、肥料も施していきます。こうして、旧暦のお盆の頃には白い花が咲くようになります。



これらは、全て夏休み中にやらなければならない仕事ですので、大変です。水をたっぷりと張っておいても、真夏の日差しですぐになくなってしまいます。また、干したままにしておくと、今度は、乾きすぎて枯れてしまいます。いずれも適度な水量をしっかりと管理する必要があります。

人間の成長も同じではないでしょうか。長い夏休みの間、子どもたちにとって、楽な環境ばかり与えていると生活のリズムが乱れ、体調を崩したり、9月の学校生活に慣れるのに時間がかかったりします。是非とも、あえて、苦労する体験、不便な体験をさせることによって、しっかりと大地に根を伸ばして踏ん張り、それを克服する自らの力を高められるように「中干し」をお勧めいたします。大きく成長していく過程にある子どもたちにとっては、この体験が必要なのです。もちろん、大人がタイミングよく適量の「肥料」を与えることも怠ってはいけませんね。そうすることで、やがて、豊かな実りの秋を迎えられることでしょう。

新型コロナウイルス感染症も第7波を迎えて拡大しています。感染対策をしっかりととりながらも、思い出に残るよい夏休みを過ごしてください。